

# GPT-3.5 TURBOの ファインチューニング機能について

福岡デザイン&テクノロジー専門学校

AIクリエイター科 ブリゲッタ ニコル

# 目次

- 概要
- 特長
- 事例
- 結果
- まとめ

# 概要

- ファインチューニングされたGPT-3.5 Turboモデルの性能がGPT-4の性能より超えると発表がありました。
  - 記事： <https://openai.com/blog/gpt-3-5-turbo-fine-tuning-and-api-updates>
- 開発者が教師ありファインチューニングでユースケースモデルのパフォーマンスを向上できます。
- 顧客がモデルをファインチューニングで改善できた共通点のユースケースは次の通りです。

# 特長

- 指示に従う能力の向上
  - 簡潔に特定の言語で出力できる。
- 出力フォーマットの信頼性の向上
  - モデルの応答フォーマットが安定されます。
- 口調のカスタマイズ
  - モデルの高品質を感じられます。
- プロンプトの短縮
  - プロンプトを短縮してもパフォーマンスはほとんど一緒になります。

# 事例

## ○データセット：ScienceQA

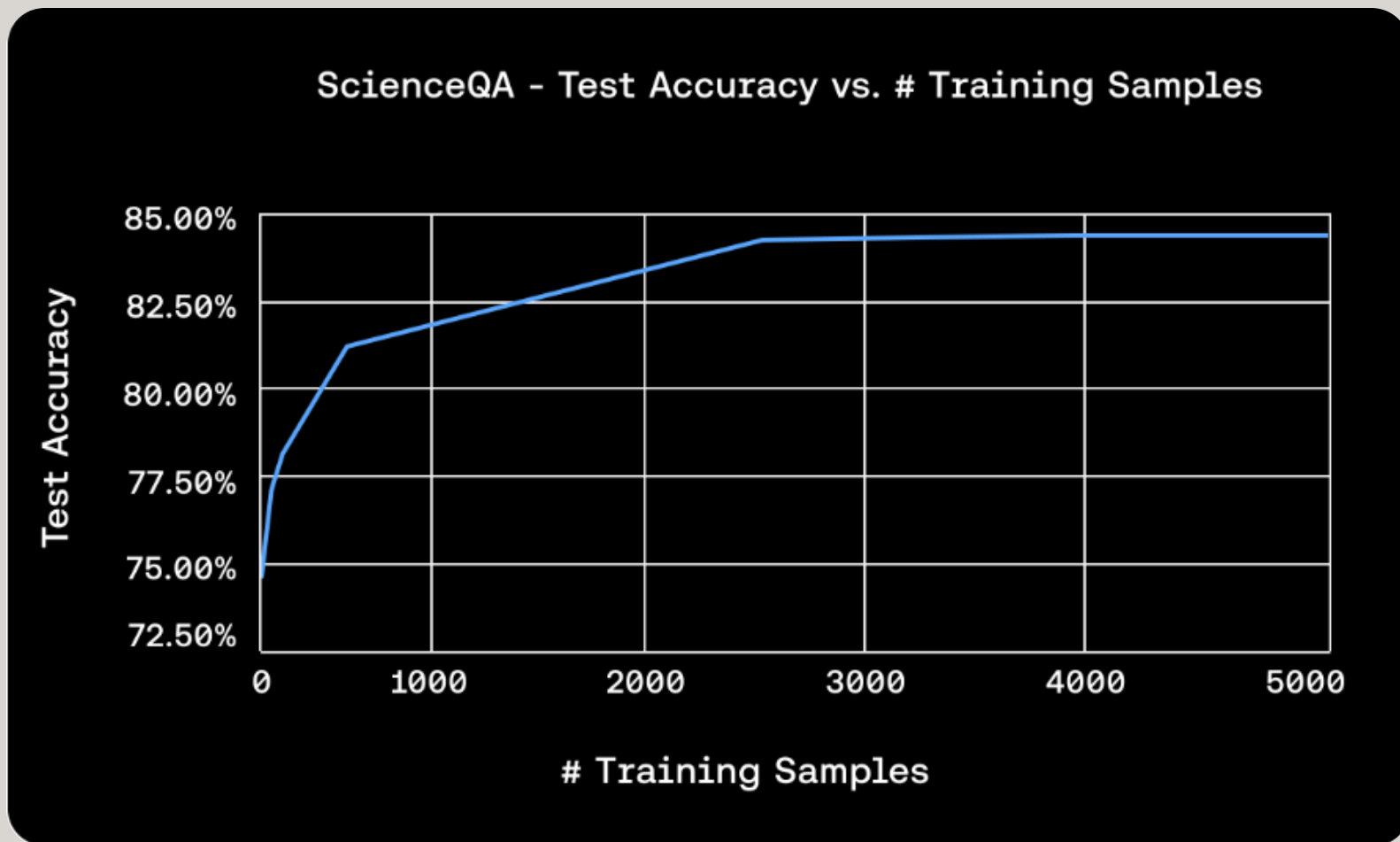
<https://scale.com/blog/fine-tune-gpt-3.5>

| ScienceQA Validation<br>検証  | GPT-3.5 | GPT-4 |
|-----------------------------|---------|-------|
| Pre-trained (1-shot)<br>訓練前 | 72.98%  | 74.8% |
| Fine-tuned<br>ファインチューニング後   | 84.58%  | -     |

# 結果

ファインチューニングの正解率：

サンプルデータ  
数が高いほど  
テストの正解率も  
上がりますが、  
データ数が2500  
以上になったら  
結果が安定されます。



# まとめ

- GPT-3.5 Turbo ファインチューニングの機能が現在のGPT-4.0よりいい結果を出しているとわかります。
- 今後、GPT-4.0のファインチューニングのパフォーマンスに期待しています。

ご清聴ありがとうございました